

平成28年度
保健所年報
(平成29年度版)



三重県熊野保健所

〒519-4324 熊野市井戸町383番地
総務企画課 TEL 0597-85-2158
健康増進課 TEL 0597-89-6115
衛生指導課 TEL 0597-85-2159

FAX 0597-85-3914(共通)

【ホームページURL】 <http://www.pref.mie.lg.jp/KHOKEN/HP/>

【Eメールアドレス】 khoken@pref.mie.jp

<丸山千枚田>



夏は田植えに虫送り、秋は稲刈りと豊かな実りを体験できます。

<木津呂>



まるで円盤のようなこの地形は、自然にできたものです。
ほかに見ることはできない唯一無二の絶景です。

目 次

管内概況

1 保健所の沿革	1
2 保健所の位置図及び平面図	3
3 保健所の組織と業務概要	4
4 健康相談等の日程	5
5 人口動態統計	6

みえ県民カビジョン

みえ県民カビジョン・第二次行動計画における事業実績

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

施策112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業11204 災害医療体制の整備

1 災害医療体制強化推進事業	12
2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業	13
3 毒物劇物保有状況等総合調査	13

施策145 食の安全・安心の確保

基本事業14501 食の安全・安心の確保

1 食品衛生	14
--------	-------	----

施策146 感染症の予防と拡大防止対策の推進

基本事業14602 感染症危機管理体制の整備

1 感染症予防事業	16
-----------	-------	----

基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

1 エイズ対策促進事業	17
2 特定感染症検査	17
3 結核予防事業	18

施策121 地域医療提供体制の確保

基本事業12102 医療分野の人材確保

1 保健師活動状況	21
2 看護学生等保健所実習指導	21
3 1日看護体験	21
4 紀南病院研修医研修	21

基本事業12103 救急医療等の確保

1 地域救急医療対策事業	22
--------------	-------	----

基本事業12104 医療安全体制の確保

1 医務	23
------	-------	----

施策124	こころと身体 の健康対策の推進	
	基本事業12401	健康づくり・生活習慣病予防活動の推進
	1	ヘルシーピープルみえ・21の推進
	 25
	2	くまの地域・職域連携推進懇話会
	 27
	基本事業12403	こころの健康づくりの推進
	1	自殺防止対策事業
	 28
	基本事業12404	難病対策の推進
	1	原子爆弾被爆者対策事業
	 30
	2	指定難病治療研究事業
	 31
	3	難病在宅ケア事業
	 32
	4	肝炎治療特別促進事業
	 33
	5	骨髄バンク
	 33
施策144	薬物乱用防止と動物愛護 の推進等	
	基本事業14401	薬物乱用防止対策の推進
	1	不正大麻・けし対策
	 34
	2	薬物乱用防止対策
	 34
	基本事業14403	医薬品等の安全な製造・供給の確保
	1	薬事
	 35
	2	献血推進
	 36
	基本事業14404	生活衛生営業の衛生確保
	1	生活衛生
	 37
	基本事業14402	人と動物との共生環境づくり
	1	狂犬病予防
	 38
	2	動物愛護
	 39
施策131	障がい者の自立と共生	
	基本事業13105	精神障がい者の保健医療の確保
	1	精神保健福祉事業
	 40
	基本事業13106	障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり
	1	障がい者地域生活推進事業
	 42
第2節	「創る」	～人と地域の夢や希望を実感できるために～
施策231	少子化対策を進めるための環境づくり	
	基本事業23102	子どもの育ちを支える地域社会づくり
	1	母子医療給付事業
	 44
	2	健やか親子支援事業
	 45

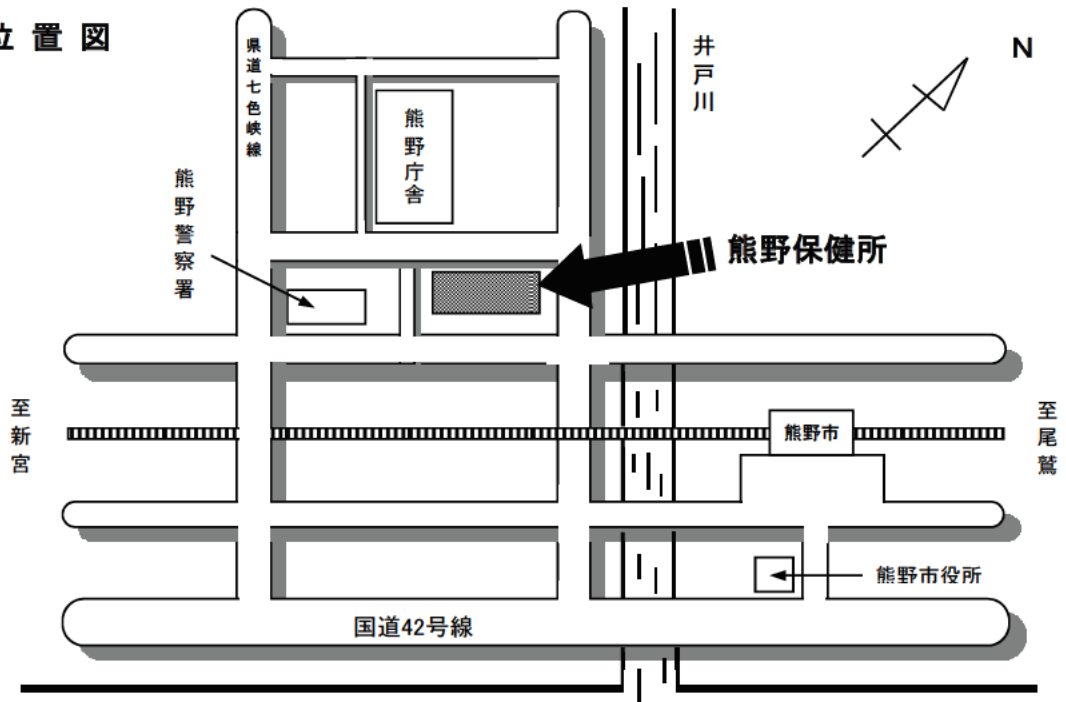
1 熊野保健所の沿革

- 昭和 19 年 11 月 南牟婁郡 (21ヶ町村) を管轄区域とする
三重県木本保健所が木本町 1538 番地に開設
- 昭和 22 年 5 月 警察衛生事務の保健所移管にともない、木本及び鵜殿両警察署より関係事務の引継ぎ完了
- 昭和 23 年 11 月 保健所に課制が施行され、総務、衛生、保健予防課、保健婦室の 3 課 1 室設置
- 昭和 25 年 6 月 南牟婁郡木本町赤坂 695-14 (借地) 及び有井村大字井戸 794-3 に庁舎新築
- 昭和 29 年 6 月 管内北輪内村、南輪内村が尾鷲市に合併、尾鷲保健所管轄区域となる
- 昭和 29 年 11 月 庁訓第 702 号により名称を熊野保健所と改称
- 昭和 35 年 8 月 次長制実施
- 昭和 45 年 2 月 熊野市井戸町井土 383 (井戸川右岸) において新庁舎建設工事着工
- 昭和 45 年 8 月 新庁舎竣工
- 昭和 45 年 9 月 新庁舎移転完了、業務開始
- 昭和 49 年 8 月 冷暖房設備完了
- 昭和 50 年 11 月 犬舎増築、庁舎前庭整備
- 昭和 51 年 4 月 機構改革により環境課新設
衛生課を衛生指導課に改称
- 平成 5 年 4 月 保健婦室を保健指導課に改称
- 平成 7 年 4 月 身体障がい者用便所及び玄関の自動ドア並びにスロープの設置
- 平成 9 年 4 月 機構改革により、保健予防課、保健指導課を廃し、企画調整課、地域保健課を新設
庁舎内に「紀南健康長寿推進協議会」事務局が設置される (3 名体制)
- 平成 10 年 4 月 機構改革により、熊野保健所、紀南福祉事務所及び児童相談業務の組織の統合がなされ、紀南県民局保健福祉部として発足する。従来の課制がグループ制に改正され、4 グループが組織される。〔企画総務 G、健康増進 G、福祉保健 G、衛生検査 G〕
- 平成 13 年 4 月 健康診断、検査業務の廃止、衛生検査グループを衛生指導グループに改称
- 平成 14 年 4 月 チーム制の導入により、紀南保健福祉部に福祉相談チーム〔経営支援 G、生活支援 G、子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔計画調整 G、健康増進 G、衛生指導 G〕を設置し、部長、チームマネージャー、グループリーダーを置く。(保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する)
- 平成 15 年 4 月 グループの統合・改称により福祉相談チーム〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生チーム〔健康増進 G、衛生指導 G〕が組織される。
- 平成 16 年 4 月 室制の導入により、福祉相談室〔経営企画 G、生活・子育て支援 G〕、保健衛生室〔健康増進 G、衛生指導 G〕を設置
- 平成 17 年 4 月 保健と福祉の事務機能の純化及び児童相談所のセンター化により、福祉相談室が企画福祉室〔企画市町村支援 G、福祉 G〕に改称し、精神、特定疾患業務が保健衛生室に移行、児童相談業務が分離され、紀州児童相談所駐在を設置

- 平成 18 年 4 月 機構改革により、県民局が廃止され、熊野保健福祉事務所として単独地域機関となる
福祉相談室〔企画課、福祉課〕と保健衛生室〔健康増進課、衛生指導課〕の組織となり、紀南健康長寿推進協議会事務局の庁舎内設置は継続
紀州児童相談所駐在の廃止
- 平成 20 年 4 月 「紀南健康長寿推進協議会」事務局の庁舎内設置の廃止
- 平成 20 年 12 月 附属棟を紀州家畜保健衛生所に所属替え
- 平成 20 年 12 月 改修した検査室を栄養指導室に用途変更
- 平成 25 年 4 月 機構改革により、熊野保健福祉事務所が廃止され、熊野保健所、紀南福祉事務所として単独地域機関となる

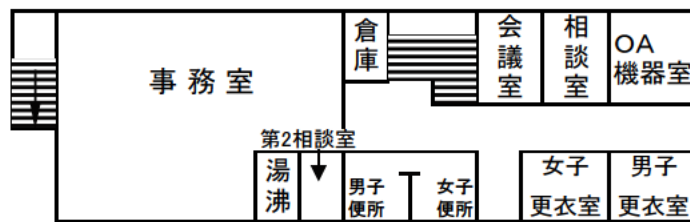
2 熊野保健所の位置図及び平面図

(1) 位置図

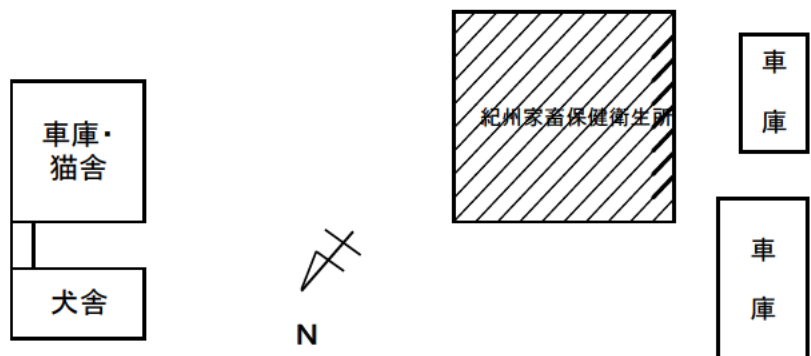
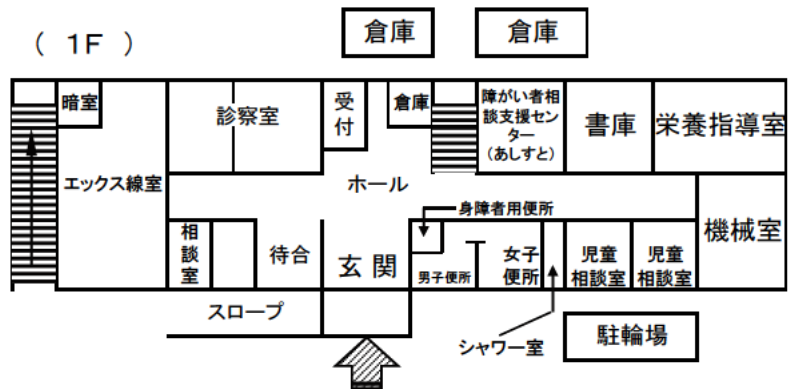


(2) 平面図

(2F)



(1F)



3 熊野保健所の組織と業務概要

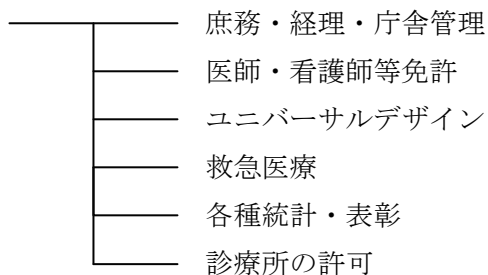
[平成28年度体制]

(1) 職員組織及び事務分掌 所長(尾鷲保健所兼務)

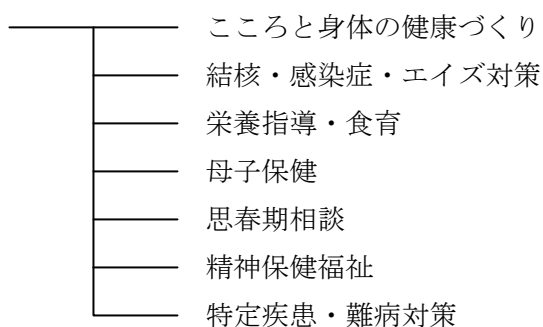
保健衛生室

◎副所長兼保健衛生室長

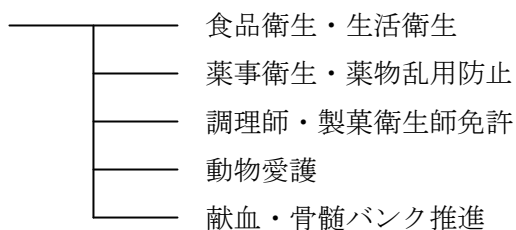
○総務企画課 (4名)



○健康増進課 (6名)



○衛生指導課 (3名)



(2) 職種別職員数

(医師1名)、獣医師2名、薬剤師2名、検査技師1名、管理栄養士1名
診療放射線技師1名、保健師3名、一般事務職4名

4 健康相談等の日程

平成28年4月1日現在

項	目	実 施 日	受 付 時 間	内 容
エイズ	抗体検査	毎月第2・4火曜日 原則予約制です。	午後1:30～午後2:30	採血
	相 談	毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00	相談
骨 髄	バンク 登 録 受 付	毎月第4火曜日	予約が必要です。	登録手続 採血
覚 せい 剤 等	相 談	毎週月～金曜日	午前8:30～午後5:00	相談、啓発資材貸出し
<ul style="list-style-type: none"> ・予約はお電話でお願いいたします。 ・エイズ検査は無料、匿名で受けられますが、証明書（有料）が必要な方は実名での検査となります。 ・祝日などの関係で日程等が変更になる場合がありますので、ご注意ください。 				

5 人口動態統計

(1) 市町人口・世帯数・面積

平成 28 年 10 月 1 日現在

市 町	世 帯 数	人 口			面 積 (k m ²)	人口密度 (人/k m ²)
		総 数	男	女		
管 内	16,874	36,730	16,942	19,788	541.10	67.8
熊 野 市	8,079	17,038	7,796	9,242	373.35	45.6
御 浜 町	3,846	8,624	4,004	4,620	88.13	97.8
紀 宝 町	4,949	11,068	5,142	5,926	79.62	139.0
三 重 県	725,366	1,807,611	880,050	927,561	5774.40	313.0

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

(2) 人口の年齢構成割合と諸指標

平成 28 年 10 月 1 日現在

市 町	年齢階級別割合 (%)			年少人口指数	老年人口指数	従属人口指数	老年化指数
	0～14 才	15～64 才	65 歳以上				
管 内	11.0	50.0	39.0	22.0	78.2	100.2	355.1
熊 野 市	9.9	47.7	42.3	20.8	88.6	109.4	426.2
御 浜 町	11.6	50.3	38.1	23.1	75.7	98.8	328.0
紀 宝 町	12.1	52.9	34.7	22.9	65.6	88.6	286.0
三 重 県	12.7	58.0	28.2	21.9	48.6	70.5	221.6

推計人口（月別人口調査結果：三重県）

(注)

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少 (15 才未満) 人口}}{\text{生産年齢 (15～64 才) 人口}} \times 100 \quad \text{従属人口指数} = \frac{\text{年少 + 老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年 (65 才以上) 人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100 \quad \text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

平成 8 年に熊野保健所管内の老年人口割合が 25% を超え、増加傾向がつづいて平成 16 年から 30% を超えている。

(3) 年次別人口動態件数および率の推移

年	人 口	老年化指数	出 生		死 亡		乳児死亡		死 産		婚 姻		離 婚	
			実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
17	44,301	225.7	302	6.8	584	13.2	0	0	6	19.5	179	4.0	93	2.1
18	43,781	232.4	305	7.0	556	12.7	0	0	5	16.1	173	4.0	98	2.2
19	43,303	244.4	289	6.6	580	13.3	1	3.5	11	36.1	177	4.1	87	2.0
20	42,563	256.9	296	7.0	603	14.2	0	0	0	0	171	4.0	74	1.7
21	41,877	263.4	259	6.2	586	14.0	1	3.9	11	42.5	172	4.1	86	2.1
22	41,273	274.4	272	6.6	584	14.1	0	0	5	18.1	148	3.6	86	2.1
23	40,394	279.3	255	6.2	625	15.3	1	3.9	6	23.0	149	3.6	70	1.7
24	39,921	284.7	239	6.0	628	15.7	2	8.4	7	28.5	139	3.5	78	2.0
25	39,231	296.6	240	6.1	641	16.3	0	0	2	8.3	158	4.0	48	1.2
26	38,138	327.1	220	5.8	661	17.3	0	0	4	17.9	128	3.4	49	1.2
27	37,270	342.9	233	6.3	627	16.8	2	8.6	4	16.9	157	4.2	57	1.5
28	36,730	355.1	217	5.9	591	16.1	0	0	2	8.5	136	3.7	54	1.5

人口動態調査結果 平成28年確定数

(注) 出生、死亡、婚姻、離婚率は人口1,000対 乳児死亡率は出生1,000対 死産率は出生1,000対
平成27年に比べ平成28年は出生数が16名減少し、死亡数が36名減少した。

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

(4) 市町別人口動態件数及び率

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定数

市 町	出 生				低体重児(再)	死 亡			
	総 数	男	女	率		総 数	総 数	男	女
管 内	217	105	112	5.9	28	591	302	289	16.1
熊野市	80	43	37	4.7	9	296	151	145	17.4
御浜町	48	25	23	5.6	5	140	60	80	16.2
紀宝町	89	37	52	8.0	14	155	91	64	14.0
三重県	13,202	6,806	6,396	7.4	1,214	19,830	10,131	9,699	11.2

人口動態調査結果

(注) 出生、死亡率は人口1,000対

平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日確定数

市 町	乳 児 死 亡			新生児死亡（再掲）			死 産	周産期死亡（再掲）		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数	満 22 週以 後の死産	早 期 新 生 児 死 亡
管 内	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
熊野市	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
御浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀宝町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三重県	22	15	7	12	8	4	272	75	67	8

平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日確定数

市 町	婚 姻		離 婚		自 然 増 加		合計特殊出生率 (H28)
	総 数	率	総 数	率	総 数	率	
管 内	136	3.7	54	1.5	-374	-10.2	1.70
熊 野 市	61	3.6	23	1.4	-216	-12.7	1.50
御 浜 町	28	3.2	11	1.3	-92	-10.7	1.67
紀 宝 町	47	4.2	20	1.8	-66	-6.0	1.95
三 重 県	8,174	4.6	2,923	1.7	-6,628	-3.7	1.51

(注) 婚姻、離婚率は人口 1,000 対

自然増加数＝年間出生数－年間死亡数

自然増加率＝ $\frac{\text{自然増加数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$

合計特殊出生率は女子の年齢別出生率の合計で 1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生む平均子ども数をあらわす。

(5) 市町別・性別・出生体重

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定数(単：人)

市町別	総数	性別		1000g未満		1000～1499g		1500～1999g		2000～2499g		2500～2999g		3000～3499g		3500～3999g		4000～4499g		4500g以上		不詳		2500g未満	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	217	105	112	1	0	0	0	2	2	11	12	39	47	47	43	5	7	0	1	0	0	0	0	14	14
熊野市	80	43	37	1	0	0	0	0	0	3	5	20	13	15	17	4	1	0	1	0	0	0	0	4	5
御浜町	48	25	23	0	0	0	0	0	0	2	3	10	9	13	8	0	3	0	0	0	0	0	0	2	3
紀宝町	89	37	52	0	0	0	0	2	2	6	4	9	25	19	18	1	3	0	0	0	0	0	0	8	6

(6) 母の年齢別・出生順位別・出生数

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定数(単：人)
(管内の件数でなく、三重県の件数)

	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
総数	13,202	6,143	4,925	1,694	331	109
15歳未満	3	3	0	0	0	0
15～19歳	179	154	25	0	0	0
20～24歳	1,244	846	330	58	10	0
25～29歳	3,745	2,125	1,230	322	55	13
30～34歳	4,817	1,947	2,006	703	124	37
35～39歳	2,623	866	1,102	501	110	44
40歳以上	591	202	232	110	32	15
不詳	0	0	0	0	0	0



(7)特定死因順位-市町別死亡数・率(人口10万対)、割合(%)

平成28年1月1日～平成28年12月31日確定数

死因	管内総数				熊野市				御浜町				紀宝町			
	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合	順位	死亡者数	死亡率	総死亡に対する割合
総数	—	591	1506.5	100%	—	296	1583.1	100%	—	140	1539.6	100%	—	155	1354.8	100%
悪性新生物	1	134	341.6	22.7%	1	69	369.0	23.3%	1	29	318.9	20.7%	2	36	314.7	23.2%
心疾患(高血圧性を除く)	3	89	226.9	15.1%	3	41	219.3	13.9%	3	23	252.9	16.4%	3	25	218.5	16.1%
脳血管疾患	5	47	119.8	8.0%	5	26	139.1	8.8%	6	10	110.0	7.1%	6	11	96.1	7.1%
肺炎	6	45	114.7	7.6%	6	17	90.9	5.7%	4	15	165.0	10.7%	5	13	113.6	8.4%
老衰	4	67	170.8	11.3%	4	37	197.9	12.5%	4	15	165.0	10.7%	4	15	131.1	9.7%
不慮の事故	8	17	43.3	2.9%	8	9	48.1	3.0%	7	5	55.0	3.6%	8	3	26.2	1.9%
肝疾患	11	7	17.8	1.2%	12	3	16.0	1.0%	8	3	33.0	2.1%	13	1	8.7	0.6%
大動脈瘤及び解離	9	10	25.5	1.7%	10	4	21.4	1.4%	8	3	33.0	2.1%	8	3	26.2	1.9%
腎不全	7	20	51.0	3.4%	7	13	69.5	4.4%	8	3	33.0	2.1%	7	4	35.0	2.6%
糖尿病	12	6	15.3	1.0%	14	2	10.7	0.7%	11	2	22.0	1.4%	10	2	17.5	1.3%
精神及び行動の障害	10	8	20.4	1.4%	9	5	26.7	1.7%	12	1	11.0	0.7%	10	2	17.5	1.3%
自殺	14	4	10.2	0.7%	14	2	10.7	0.7%	15	0	0.0	0.0%	10	2	17.5	1.3%
慢性閉塞性肺疾患	12	6	15.3	1.0%	10	4	21.4	1.4%	12	1	11.0	0.7%	13	1	8.7	0.6%
アルツハイマー病	14	4	10.2	0.7%	12	3	16.0	1.0%	12	1	11.0	0.7%	15	0	0.0	0.0%
高血圧疾患	16	1	2.5	0.2%	16	1	5.3	0.3%	15	0	0.0	0.0%	15	0	0.0	0.0%
その他	2	126	321.2	21.3%	2	60	320.9	20.3%	1	29	318.9	20.7%	1	37	323.4	23.9%

(8) 市町別悪性新生物部位別死亡者数

平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日確定数

	管内		熊野市		御浜町		紀宝町	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	77	57	39	30	14	15	24	12
口唇、口腔及び咽頭	3	3	1	1	0	2	2	0
食道	1	1	0	1	0	0	1	0
胃	9	12	4	7	2	3	3	2
結腸	3	6	1	2	1	2	1	2
直腸S状結腸移行部及び直腸	4	3	2	1	0	0	2	2
肝及び肝内胆管	8	4	6	1	1	0	1	3
胆のう、その他の胆道	5	3	1	1	2	1	2	1
膵	7	9	4	6	2	3	1	0
気管・気管支及び肺	15	7	8	5	1	0	6	2
皮膚	1	0	0	0	1	0	0	0
乳房	1	3	0	2	0	1	1	0
子宮	-	0	-	0	-	0	-	0
卵巣	-	0	-	0	-	0	-	0
前立腺	5	-	2	-	1	-	2	-
膀胱	3	1	2	0	1	1	0	0
中枢神経系	0	0	0	0	0	0	0	0
悪性リンパ腫	1	0	1	0	0	0	0	0
白血病	1	2	1	1	0	1	0	0
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	3	0	1	0	1	0	1	0
その他	7	3	5	2	1	1	1	0

第1節 「守る」 ～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

施策112 防災・減災対策を進める体制づくり

基本事業11204 災害医療体制の整備

(主担当:総務企画課、衛生指導課)

取組内容

- 1 関係機関と連携し、災害時の医療提供体制の確保を図ります。
- 2 災害用医薬品の備蓄・供給体制を確保します。
- 3 毒物・劇物を保有している施設等を把握し、激甚災害時における毒物劇物による危害発生を防止します。

1 災害医療体制強化推進事業

(1) 平成28年度紀南地域災害医療対策会議の開催

第1回

開催日：平成28年6月30日(木)

場所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内容：委員の変更について

災害時の連絡体制について

紀南病院の災害拠点病院化へ向けた動きについて

第2回

開催日：平成28年10月20日(木)

場所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内容：災害時の連絡体制について

紀南病院の災害拠点病院化へ向けた動きについて

平成29年度大規模地震時医療活動訓練について

(2) 災害医療支援病院の指定

指定状況：平成25年12月17日に紀南病院が「三重県災害医療支援病院」に指定。

(3) 災害医療コーディネーターの委嘱

委嘱状況：紀南病院2名、紀南医師会3名を委嘱。

(4) 広域災害救急医療情報システム(EMIS)への参加

参加状況：管内病院のEMIS参加率は100%。
(紀南病院、熊野病院)

2 激甚災害時医薬品等備蓄・供給体制整備事業

(1) 医薬品等の備蓄事業

紀南地域において発災時に必要な医薬品を速やかに供給できるよう、熊野保健所に外科系医薬品及び衛生材料を備蓄している。

医薬品	27薬効	42品目
衛生材料	13分類	42品目

内科系救急医薬品は災害拠点薬局を指定し、備蓄している。

熊野地域災害拠点薬局	:	紀南調剤薬局
医薬品	27薬効	38品目

(2) 県域を越えた協力体制の整備

* 紀伊半島三県災害等相互応援に関する協定に基づく医薬品等供給実施細目

激甚災害により主要幹線道路が寸断されると医薬品等の供給が迅速に進まなくなるおそれがあるため、近隣県と協定を結び災害時に備えている。

3 毒物劇物保有状況等総合調査

毒物劇物販売業、業務上取扱者等を対象に保有している毒物劇物や中和剤、治療薬等の調査により、災害時の危害発生防止に役立てます。

平成28年度調査	7事業所
----------	------

施策145 食の安全・安心の確保
基本事業14501 食の安全・安心の確保

(主担当:衛生指導課)

取組内容

- 1 食品の製造、流通および販売にいたるまでの衛生、規格等について監視、指導、検査を実施することにより、食生活の安全確保に努めます。
- 2 講習会を開催し、食品衛生、食品表示等に関する正しい知識の普及啓発に努めます。

1 食品衛生

食品監視指導に関する基本方針に基づき、年間を通じて計画的な監視と食品の取去検査を実施しました。

食品取扱者及び消費者に対して衛生講習を行うなど、食品衛生思想の普及啓発に努めるとともに、営業者の自主衛生管理を推進し、食中毒の予防に努めました。

(1) 食品関係営業施設数

(平成28年度末現在)

区分	業種	施設数	監視指導施設数	
許	飲食店営業	446	195	
	菓子製造業	76	45	
	乳処理業	0	0	
	乳製品製造業	0	0	
	魚介類販売業	106	58	
	魚介類せり売り業	2	2	
	魚肉ねり製品製造業	2	2	
	食品の冷凍冷蔵業	0	0	
	びん詰かん詰製造業	6	7	
	喫茶店営業	40	18	
	アイスクリーム類製造業	12	11	
	乳類販売業	86	49	
	食肉処理業	10	14	
	食肉販売業	77	53	
	可	食肉製品製造業	0	0
		みそ製造業	5	3
		しょうゆ製造業	1	0
		ソース類製造業	0	0
		酒類製造業	2	3
		豆腐製造業	2	1
めん類製造業		2	2	
そうざい製造業		11	14	
清涼飲料水製造業		4	11	
氷雪製造業		0	0	
氷雪販売業	3	0		
小計	893	488		
届出	集団給食施設	71	29	
	食品製造業	134	43	
	その他販売業	324	109	
	小計	529	181	
合計	1,422	669		



(2) ランク別監視状況

各業種毎に、過去の食中毒の発生頻度や、製造・販売される食品の広域性、営業の形態などを考慮して監視の重要度をランク分けし、このランク毎に監視頻度を設定して立入検査を実施しました。

(平成28年度)

区分		監視実績
Aランク 2回以上/年	対象施設	20
	監視件数	57
	監視率	142.5%
Bランク 1回以上/年	対象施設	61
	監視件数	93
	監視率	152.5%
Cランク 1回以上/5年	対象施設	1321
	監視件数	519
	監視率	196.4%
計	対象施設	1402
	監視件数	669
	監視率	183.2%

*対象施設は平成28年度当初の施設数

(3) 食品収去検査結果

平成28年度

品目	検体	収去検体数	不良検体数	不良検体数内訳	
				理化学検査	細菌学検査
乳及びその加工品		0	0	0	0
肉・卵及びその加工品		4	0	0	0
魚介類及びその加工品		6	0	0	0
青果穀類及びその加工品		17	0	0	0
菓子類		32	0	0	0
冷凍食品		0	0	0	0
その他の食品		65	4	0	4
器具及び容器包装		0	0	0	0
おもちゃ		0	0	0	0
施設内設備拭き取り検査		35	0	0	0
合計		159	4	0	4



(4) 食品衛生月間等における啓発事業の実施

① 街頭啓発（パンフレット等資材の配布）

【1回目】 実施日：平成28年 8月 3日 場所：イオン熊野店、オークワ熊野店

【2回目】 実施日：平成28年 8月12日 場所：鬼ヶ城センター、ウミガメ公園

【3回目】 実施日：平成28年11月29日 場所：イオン熊野店、オークワ熊野店

② 専門家による講習会の開催

【1回目】 実施日：平成28年6月2日 受講者数：69名
講師：サラヤ株式会社 中本 広行 氏
内容：細菌性食中毒予防対策

【2回目】 実施日：平成28年11月10日 受講者数：68名
講師：株式会社イムテス 山口 久美 氏
内容：ノロウイルス食中毒・感染症対策

(5) 食品衛生講習会の開催状況

食品関係営業施設等からの依頼に応じた衛生講習会を開催した。

また、食品表示法（平成27年4月1日施行）に基づく表示方法に関する事業者向け講習会を健康増進課と合同開催した。

平成28年度	開催回数	受講者数
	41	764

(6) 食中毒の発生 平成28年度 1件

施設：給食施設（その他） 原因物質：病原大腸菌

喫食者数：103名 患者数：42名 死者数：0名

(7) 調理師試験合格者数

平成28年度	出願者	受験者	合格者	合格率
	15	14	9	64.3%

施策146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
基本事業14602 感染症危機管理体制の整備

(主担当:健康増進課)

取組内容

1 法に規定されている感染症の患者が発生した場合、家族等の接触者に対して調査や検査を実施し、まん延を防止します。

1 感染症予防事業

各種感染症の予防対策と防疫対策の確立を図り、患者発生防止に努めます。

(1) 感染症届出状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一類感染症 0件
 二類感染症(結核を除く) 0件
 三類感染症 0件
 四類感染症 0件
 五類感染症 0件

(2) 感染症発症状況の推移(一～三類)

	一類感染症	二類感染症 (結核を除く)	三類感染症
平成26年度	0	0	1 (腸管出血性大腸菌感染症)
平成27年度	0	0	1 (腸管出血性大腸菌感染症)
平成28年度	0	0	0

(3) 行政検査実施状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	医療機関からの 依頼	家族及び接触者	菌陰性化	計
実施件数	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(4) 検疫対応状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

検疫通報件数 0件

(5) 病原体検査実施状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

検査数 2件

基本事業14603 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当:健康増進課)

取組内容

- 1 性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止を図るため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療等の相談など総合的に事業を展開します。
- 2 結核患者の早期発見、早期治療のため、接触者健診及び結核対策等を実施し、まん延の防止を図ります。

1 エイズ対策促進事業

(1) エイズ相談及びH I V抗体検査等実施状況 (平成 28 年度)

	男	女	計
相談件数	7	7	14
検査件数	4	5	9

(2) エイズ地域特別対策事業 (エイズ予防啓発)

開催日	参加人数	実施対象	内容
平成 28 年 8 月 2 日	27 名	管内思春期 支援者	思春期保健研修会 「予期せぬ妊娠の背景とその予防と対応のため に」 講師：特定非営利活動法人 MC サポートセンター みっくみえ代表 松岡典子先生
6 月 13 日 6 月 15 日 12 月 13 日	200 名 20 名 107 名	木本高校 1 年生 木本高校定時制 紀南高校 1 年生	} エイズ・性感染症について 講師：熊野保健所 保健師
12 月 1 日 ～6 日	430 名 120 名	高校生等 一般住民	
			JR 熊野市駅及び熊野市内商業施設にてエイズデー 街頭啓発実施 県熊野庁舎での啓発

2 特定感染症検査

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、ウィルス肝炎検査を推進することで、これらの感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

(平成 28 年度)

		男	女	計
梅毒	相談件数	5	5	10
	検査件数	4	5	9
B 型肝炎	相談件数	5	5	10
	検査件数	4	5	9
C 型肝炎	相談件数	5	5	10
	検査件数	4	5	9

3 結核予防事業

当管内の結核り患率は県内と比較して特に高齢者で高く、喀痰塗抹陽性等、重症化して発見されるケースも多く見られます。そこで、引き続き高齢者に重点を置いた啓発活動を強化し、患者の早期発見、早期治療に繋げることにより感染防止を図ります。

(1) 結核患者登録状況

①新登録患者数（活動性分類・性・年齢階級別）

平成28年1月1日～平成28年12月31日

		活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性結 核感染症
		総数	肺 結 核 活 動 性						肺外結核 活動性	
			総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他		
				総数	初回治療	再治療				
総 数	総数	9	6	4	3	1	2	-	3	-
	男	3	1	1	-	1	-	-	2	-
	女	6	5	3	3	-	2	-	1	-
0～4 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59 歳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69 歳	総数	2	1	-	-	-	1	-	1	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	1	-	-	-	1	-	1	-
70歳 以上	総数	7	5	4	3	1	1	-	2	-
	男	3	1	1	-	1	-	-	2	-
	女	4	4	3	3	-	1	-	-	-
年齢 不詳	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②市町別結核新登録患者の状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日 (単位:人)

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
総数	総数		初回治療	再治療	総数			菌陰性・その他	
総数	9	6	4	3	1	2	-	3	-
熊野市	6	4	3	2	1	1	-	2	-
御浜町	2	1	-	-	-	1	-	1	-
紀宝町	1	1	1	1	-	-	-	-	-

③過去5年間における市町別結核罹患率

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率	新規患者数	罹患率
総数	9	22.9	7	18.1	9	22.9	7	18.1	9	24.5
熊野市	4	21.4	4	21.8	4	21.4	4	21.8	6	35.2
御浜町	1	11.0	2	22.4	1	11.0	2	22.4	2	23.1
紀宝町	4	35.0	1	8.8	4	35.0	1	8.8	1	9.0

④平成28年末現在市町別結核登録患者数

平成28年12月31日現在

	総数	活動性結核							肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性			登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性・その他	治療中				観察中	
			総数	初回治療	再治療								
総数	13	8	5	3	2	1	2	-	3	3	2	-	-
熊野市	9	5	3	2	1	1	1	-	2	3	1	-	-
御浜町	3	2	1	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
紀宝町	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-

⑤平成28年末現在結核登録患者数(活動性分類・治療状況別)

平成28年12月31日現在

	総数	活動性結核							肺外結核活動性	不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性			登録時 その他の結核菌陽性	登録時 菌陰性・その他	治療中				観察中	
			総数	初回治療	再治療								
総数	13	8	5	3	2	1	2	-	3	3	2	-	-
入院中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来(他疾患入院)	2	2	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
外来(通院)	6	6	4	2	1	1	2	-	2	-	-	-	-
治療なし	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 結核医療及び公費負担診査状況

① 保険者別公費負担状況 (法第 37 条及び法第 37 条の 2)

平成 28 年度

	被 保 険 者		国 保	後 期 高 齢 者	生 保	そ の 他	計
	本 人	家 族					
申 請 件 数	2	-	4	22	0	-	28
承 認 件 数	2	-	4	22	0	-	28

② 入院勧告患者の異動状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日 (単位:人)

27 年 末 現 在	増			減						28 年 末 現 在	
	新規	転入	計	治ゆ	軽快	死亡	自己 退院	転出	そ の 他		計
-	4	-	4	-	4	-	-	-	-	4	-

③ 法第 37 条の規定による公費負担状況

平成28年1月1日～平成28年12月31日

平成 27 年 末	新 規 件 数	継 続 件 数	解 除 件 数	平成 28 年 末
-	4	8	4	-

(3) 管理及び家族・接触者健康診断実施状況

平成 28 年度 (単位:人)

	受診者数 (実人員)	ツベルクリン 反応検査	直接撮影	QFT 検査	喀痰検査	発病のおそ れがある者	結核患者
管 理 検 診	3	-	3	-	-	-	-
家 族 検 診	17	-	15	2	-	-	-
接 触 者 検 診	45	-	12	33	-	-	-

(4) 結核対策特別促進事業実施状況

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、服薬確認法 (DOTS) 推進のために医療機関や地域の関係機関との連携強化を図り、管内結核患者の治療完了を徹底するとともに、再発及び薬剤耐性菌の出現を防止します。

① 訪問 DOTS 延べ件数 20 件

② 結核の知識普及・啓発

庁舎を訪れる住民に対し、結核予防知識の普及を図った。

日 時: 平成 28 年 9 月 23 日～30 日 場 所: 県熊野庁舎

内 容: 結核予防コーナーにてポスターの掲示、パンフレットの設置

施策121 地域医療提供体制の確保
基本事業12102 医療分野の人材確保

(主担当:健康増進課)

(主担当:総務企画課)

取組内容

- 1 県民の要望に応えられる資質の高い保健福祉職員を養成することを目的に、今日的課題に対応するため、地域特性に基づいた実務者研修会を実施します。
- 2 看護、栄養業務に従事しようとする学生に対して保健所等実習指導を実施します。
- 3 医療機関の看護職員の不足解消を図るため、一日看護体験を実施します。

1 保健師活動状況

管内保健師状況

平成28年4月1日現在

市町名 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	保健所	管内 合計
人員	7	6	7	3	23

○管内統括保健師会議 2回

日時	内容	参加者数
平成28年6月29日	保健師人材育成について	6名
平成29年2月20日	健康危機管理 災害について	5名

○管内保健師連絡会 2回 (2回目は、管内統括保健師会議と同時開催)

日時	内容	参加者数
平成28年9月6日	地域ケアシステム方法論、新任期・指導者意見交換等	10名
平成29年2月20日	健康危機管理 災害に、地域ケアシステムについて	12名

2 看護学生等保健所実習指導

(1) 看護学生実習

学校名	学生数	グループ数	実習日数
三重大学医学部看護学科	6	1	5日

(2) 管理栄養士学生実習

学校名	学生数	グループ数	実習日数
鈴鹿医療科学大学	3	1	5日
園田学園女子大学	1		
近畿大学	1		

3 1日看護体験

開催日：平成28年7月28日(木)、29日(金)

開催場所：紀南病院

参加人数：高校生34名

4 紀南病院研修医研修

該当なし

基本事業12103 救急医療等の確保

(主担当:総務企画課)

取組内容

1 地域住民の救急医療を確保するため、管内の一次救急、二次救急および救命救急医療対策整備を行います。

1 地域救急医療対策事業

熊野市及び南牟婁郡における休日または夜間の救急病患者を含む救急医療体制や、災害時における救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議をしました。

(1) 平成28年度紀南地域救急医療対策協議会

開催日：平成28年7月14日(木)

場所：県熊野庁舎 1階 101会議室

内容：①会則・委員の変更について

②平成27年度協議会活動報告について

③平成27年度協議会決算報告について

④平成28年度協議会活動計画について

⑤平成28年度協議会予算案について

(2) 平成28年度紀南地域救急医療対策協議会実務委員会

開催回数：6回

内容：①災害時における救急医療体制についての検討

②救急の日のイベント、災害時医療救護研修会についての検討 等

(3) 「救急の日」イベント(講演会)の開催

開催日：平成28年9月10日(土)

場所：紀宝町生涯学習センター「まなびの郷」

内容：「災害医療への取組 現時点での問題点 ～三重県総合防災訓練から3年～」

①講演「巨大地震にそなえる」

講師：三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳

②パネルディスカッション

コーディネーター：三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳

紀南医師会 理事 寺本 泰

参加者：119名

(4) 普通救命(AED)講習会の開催

開催地：6地区

講義：紀南医師会 医師

実技指導：熊野市消防本部 救急救命士

修了者：136名

(5) ミニタウンミーティングの開催

内容：住民と地域の医療従事者との医療に関する意見交換

開催場所：12会場(熊野市内5会場、御浜町内4会場、紀宝町内3会場)

参加者数：139名(12会場合計)

基本事業12104 医療安全体制の確保

(主担当:総務企画課)

取組内容

1 医療環境の整備をはかるため、情報提供、相談体制の充実を図ります。

1 医務

医療施設は、平成29年3月31日現在で病院2（一般病院1、精神病院1）、一般診療所39、歯科診療所23となっています。

(1) 市町別医療施設数

平成29年3月31日現在

市町名 種別		熊野市	御浜町	紀宝町	計	人口10万対※		
						管内	三重県	全国
病院	一般	0	1	0	1	2.6	4.9	5.8
	精神	1	0	0	1			
	計	1	1	0	2			
一般診療所		26	7	6	39	111.9	83.7	79.1
歯科診療所		14	3	6	23	52.0	46.9	54.0
助産所		0	0	0	0			
歯科技工所		5	2	4	11			
施術所		28	10	9	47			

※三重県及び全国の値は平成26年10月1日現在

(2) 病床数(病院・診療所)

平成29年3月31日現在

	病床数	人口10万対※			
		管内	三重県	全国	
病院	一般病床	200床	609.0	625.5	703.6
	療養病床	40	104.1	234.8	258.2
	結核病床	0			
	感染症病床	4			
	精神病床	330			
	計	574			
一般診療所		7			

※三重県及び全国の値は平成26年10月1日現在

(3) 医療関係従事者数

平成28年12月31日現在

種 別	従事者数	種 別	従事者数
医 師	63	看 護 師	351
歯 科 医 師	20	准 看 護 師	171
薬 剤 師	40	歯 科 衛 生 士	20
保 健 師	26	歯 科 技 工 士	16
助 産 師	2	合 計	709

*医師・歯科医師・薬剤師は、医師・歯科医師・薬剤師届出票（隔年調査）による。

*保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士は業務従事者届（隔年調査）による。

(4) 管内病院の概要

平成29年3月31日現在

名 称	所 在 地	診 療 科 目	病 床 数
紀南病院	御浜町阿田和 4750 TEL 05979-2-1333	内科、小児科、神経内科、外科、 整形外科、脳神経外科、産婦人科、 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射 線科、泌尿器科、歯科口腔外科 リハビリテーション科	一般 200 療養 40 感染 4
医療法人紀南会 熊野病院	熊野市久生屋町 868 TEL 0597-89-2711	内科、精神科	精神 330

施策124 こころと身体 の健康対策の推進

基本事業12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当: 健康増進課)

取組内容

- 1 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者との検討会や研修を実施し支援します。
- 2 「ヘルシーピープルみえ・21」に基づき、生活習慣の適正化に向けて学校、企業、NPO等と協働で環境づくりを推進していきます。

1 ヘルシーピープルみえ・21の推進

●たばこ対策

一般住民を対象として、県熊野庁舎内1階にてたばこに関する啓発活動を行いました。

啓発活動 平成28年5月31日～6月6日

県熊野庁舎内1階熊野県民ホールにて掲示物の展示と啓発物品の配布

●栄養・食生活

(1) 健康食育推進事業

①地域栄養管理ネットワーク研究会との協働

各職域の管理栄養士・栄養士の交流及び連携を図るとともに、委員会等を通して栄養課題に向けた取り組みの検討や時事に対応した情報交換を行いました。

地域栄養管理ネットワーク研究会委員会の開催

開催日	場所	委員出席者
平成29年1月12日(木)	県熊野庁舎	病院、学校、福祉などの各分野 8名
<内容>平成28年度の取り組みについて・情報交換		

地域栄養管理ネットワーク研究会の活動

<病院・福祉・在宅部会>

「副食形態一覧表」作成についての検討を実施。

開催日	場所	出席者
平成28年12月15日(木)	県熊野庁舎	病院・福祉・地域分野 8名

地域栄養管理ネットワーク研究会研修会の開催

開催日	場所	参加者
平成29年2月22日(水)	県熊野庁舎	病院、福祉、行政などの各分野 22名
<内容> 講演「もう一度栄養学」 講師 学校法人大川学園三重調理専門学校 鈴木 舞子 氏 話題提供 国民健康・栄養調査結果について		

②野菜フル 350 推進のための健康教育及び啓発

【健康教育】

開催日	場所	参加者
平成28年7月15日(金)	熊野市保健福祉センター	食生活改善推進員等 20名
平成28年11月29日(火)	御浜町福祉健康センター	地域住民 15名

【啓発】

25回/年 延べ689名

③健康づくり応援の店

健康づくり応援の店登録店に対し、健康づくりに関する情報を提供するとともに啓発物品の配布を依頼し、協働で県民に健康づくり情報の発信を行いました。

登録店舗数 (平成29年3月31日現在)	延べ登録店舗数 (平成29年3月31日現在)
16店舗	20店舗

(2) 栄養施行事務事業

①給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定給食施設等の巡回指導等を実施しました。

1) 巡回指導

施設の区分	管内給食施設数	指導数
知事指定施設	1	1
知事指定以外の特定給食施設	15	3
一般給食施設	29	9
計	45	13

2) 給食施設従事者研修会の開催

開催日	場所	参加者
平成28年7月14日(木)	県熊野庁舎	給食施設従事者等 37名
<p><内容> 講演 「脱水・熱中症対策～年代別水分・栄養補給のポイント～」 講師 (株)大塚製薬工場 OS-1 事業部 渡邊 浩人 氏 報告 「平成27年度給食施設における災害時食事対応に関するアンケート調査結果」 グループワーク 「考えよう 災害時の食事提供体制」</p>		

②人材育成・支援事業

1) 市町行政栄養士支援

実施回数	場所	対象
連絡会議 5回	熊野保健所	市町保健分野管理栄養士 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・各市町栄養関係事業について ・災害時栄養・食生活支援活動について（災害時炊き出しレシピ集作成等） ・福祉避難所との意見交換会 		

2) 地区組織育成支援（熊野地区食生活改善推進連絡協議会）

管理栄養士臨地実習の実践研修としてリーダー研修会を協働で開催しました。

開催日	場所	参加者
平成28年7月15日(金)	熊野市保健福祉センター	会員15名 学生5名
<内容> 講話 年代別野菜の上手なとり方 調理実習「野菜たっぷり夏バテ・熱中症予防の食事」		

3) 地域活動栄養士支援

地域栄養管理ネットワーク研究会を活用し、随時情報提供を行いました。

③健康増進法虚偽誇大広告および食品表示法（保健事項）の相談・指導

1) 個別相談・指導件数

虚偽誇大	食品表示（保健事項）
1	5

2) 集団指導

開催日	場所	参加者
平成28年6月16日(木) 平成28年7月21日(木) 平成28年8月25日(木) 平成28年9月28日(水) 平成28年10月25日(火) 平成28年12月14日(水) 平成29年1月19日(木) 平成29年3月14日(火)	県熊野庁舎	食品関係事業者等 延べ60名
<内容> 食品表示法（保健事項）の表示について ～栄養成分表示・機能性表示食品・虚偽誇大広告の禁止～		

(3) 健康づくり体制の整備

紀南健康長寿推進協議会への参加

協議会	1回
幹事会	3回
担当者会議	5回
作業部会	2回
事務局会議	1回
フェスティバル	1回

2 くまの地域・職域連携推進懇話会

目的：熊野地域固有の健康問題の特定と、地域特性を生かした健康課題の解決を図るため、地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業を推進する。

1) 懇話会の開催

日時：平成28年9月2日(金) 13:00～15:45 出席者：10名

場所：県熊野庁舎 1階101会議室 および 5階大会議室

内容：平成28年度活動内容について

講演：「私が見つけた“人とうまくいく”30のルールと支援者が工夫するとよいこと」

(精神保健福祉・自殺予防支援者研修と合同で実施)

講師：有限会社アズ 代表取締役 アズ直子 氏

アズ直子マネージャー 藤野 淳 氏

基本事業12403 こころの健康づくりの推進

(主担当:健康増進課)

取組内容

- 1 県民がこころの健康づくりの重要性を認識し、自ら実践することができるようにするため、こころの健康に関する啓発を行います。
- 2 身近なところでこころの健康づくりを支援できるよう、職域、学校、地域機関等と協働して、支援体制を整備します。

1 自殺防止対策事業

1 若年層対策事業

①日時：平成28年9月2日(金) 13:45～15:45

場所：県熊野庁舎 大会議室

内容：講演「私がみつけた“人とうまくいく”30のルールと支援者が工夫すると良いこと」

講師 (有)アズ代表取締役 アズ(木下)直子氏

アズ直子マネージャー 藤野 淳氏

参加者：学校等 75名

2 自殺予防啓発事業

(1) 自殺予防週間における啓発

県熊野庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発用パンフレット・グッズの設置

日時：平成28年9月10日～17日

(2) 自殺対策強化月間における啓発

①JR熊野市駅ロータリーにおいて相談窓口の啓発用グッズの配布

日時：平成29年3月1日(水) 8:10～8:40

対象者：高校生等 300名

②県熊野県庁舎県民ホールにおいてのぼり旗、啓発用パンフレット・グッズの設置

日時：平成29年3月1日～3月31日

(3) メンタルヘルスに関する講演

日時：平成28年10月27日(木) 13:00～14:00

場所：管内事業所

内容：セルフケアについて～ストレスとの上手な付き合い方～

講師：熊野保健所 健康増進課 保健師

対象者：熊野保健所管内事業所職員 80名

3 人材養成育成

(1) 支援者研修会

日時：平成28年6月8日（水）19:30～20:10

場所：県熊野庁舎 101 会議室

内容：情報提供「自殺の現状とその対応について」

報告者 熊野保健所 健康増進課 保健師

参加者：薬物乱用防止指導員 9名

(2) メンタルパートナー養成研修

日時：平成28年6月8日（水）

場所：熊野保健所 会議室

講師：熊野保健所保健師

参加者：管理栄養士学生5名

4 ネットワーク事業

(1) 熊野地域自殺対策連絡会

日時：平成28年6月21日（火）

場所：熊野保健所 会議室

参加者：管内各市町、熊野自殺防止センター、保健所 計6名

基本事業12404 難病対策の推進

(主担当:健康増進課、衛生指導課)

取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者及びその家族のQOL(生活の質)の向上を図ります。
- 3 骨髄移植や骨髄バンク制度の普及啓発とドナー(骨髄提供希望者)登録の推進を図ります。

1 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、毎年2回の定期健康診断及び希望者に対するがん検診を実施しました。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給しました。

(1) 定期健康診断実施状況

平成29年3月31日現在

	手帳交付数	受診者数	
		第1回	第2回
熊野市	2	1	1
御浜町	1	0	0
紀宝町	1	0	0
計	4	1	1

(2) がん検診状況

平成29年3月31日現在

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性骨髄腫
受診者数	0	0	0	0	0	0

(3) 各種手当受給状況

平成29年3月31日現在

	医療特別手当	健康管理手当	保健手当(定額)	家族介護手当	葬祭料
熊野市	0	2	0	0	0
御浜町	0	1	0	0	0
紀宝町	0	1	0	0	0
計	0	4	0	0	0

2 指定難病治療研究事業

原因が明らかでなく治療方法が確立していない希少な疾病で、長期の療養を必要とする難病患者を支援するための医療助成制度です。

平成 27 年 7 月からは 306 疾患に拡大され、治療に係る医療費の公費負担を行います。

(1) 特定医療費（指定難病）受給状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

	病 名	熊野市	御浜町	紀宝町	計
2	筋萎縮性側索硬化症	1	0	5	6
5	進行性核上性麻痺	2	0	1	3
6	パーキンソン病	26	17	24	67
7	大脳皮質基底核変性症	2	0	1	3
11	重症筋無力症	3	2	0	5
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	3	0	1	4
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	0	1	3
17	多系統萎縮症	1	0	3	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	4	3	2	9
19	ライソゾーム病	0	2	0	2
21	ミトコンドリア病	2	0	0	2
22	もやもや病	3	0	0	3
26	HTLV-1 関連脊髄症	0	0	1	1
28	全身性アミロイドーシス	2	0	0	2
34	神経線維腫症	0	2	0	2
35	天疱瘡	2	0	0	2
36	表皮水疱症	1	0	0	1
40	高安動脈炎	1	0	0	1
42	結節性多発動脈炎	2	0	0	2
43	顕微鏡的多発血管炎	1	3	1	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	0	1	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	0	1
46	悪性関節リウマチ	0	0	3	3
47	バージャー病	3	0	0	3
49	全身性エリテマトーデス	11	3	4	18
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	6	1	3	10
51	全身性強皮症	7	2	5	14
52	混合性結合組織病	1	2	1	4
53	シェーグレン症候群	2	0	2	4
54	成人スチル病	0	1	1	2
56	ベーチェット病	3	3	4	10
57	特発性拡張型心筋症	5	4	4	13
58	肥大型心筋症	1	1	0	2
60	再生不良性貧血	1	1	0	2
63	特発性血小板減少性紫斑病	7	5	0	12
67	多発性嚢胞腎	1	0	0	1
68	黄色靱帯骨化症	3	0	1	4
69	後縦靱帯骨化症	11	7	9	27
71	特発性大腿骨頭壊死症	1	2	0	3
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	0	1	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	0	0	1
78	下垂体前葉機能低下症	0	0	1	1

84	サルコイドーシス	5	1	1	7
85	特発性間質性肺炎	1	2	1	4
86	肺動脈性肺高血圧症	1	0	0	1
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	0	0	2
90	網膜色素変性症	5	4	1	10
93	原発性胆汁性肝硬変	5	3	3	11
95	自己免疫性肝炎	0	0	1	1
96	クローン病	0	1	4	5
97	潰瘍性大腸炎	27	4	12	43
111	先天性ミオパチー	0	1	0	1
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	0	0	1
271	強直性脊椎炎	1	0	0	1
300	IgG4 関連疾患	0	1	0	1
306	好酸球性副鼻腔炎	0	1	0	1
	合 計	171	80	102	353

* 当管内において受給のない疾患は掲載せず

(2) 特定疾患医療受給状況 平成 29 年 3 月 31 日現在

病 名	人数
スモン	1

3 難病在宅ケア事業

(1) 事業の目的

難病患者及びその家族が地域で安心して生活が送れるように、保健・医療・福祉が一体となった在宅ケアシステムづくりを目指します。

(2) 対象 熊野保健所管内の難病患者とその家族及び関係者

(3) 事業実施内容

①在宅療養支援計画策定・評価事業

個別の状況に応じた適切な支援体制の整備と関係者間の連携を図るため、ケア会議に参加し、在宅療養支援計画の策定・評価を行いました。

・述べ9回

②医療相談事業（地域難病相談会）

難病患者、家族及び関係者が専門的な相談ができる場として、難病相談会を開催しました。

「難病医療相談会」

日 時：平成 28 年 11 月 11 日（金） 14：30～16：00

場 所：三重県熊野保健所

対 象：神経難病患者とその家族及び関係者

参加者：合計 6 名（患者 2 名、家族 1 名、関係機関 3 名）

③訪問相談事業

多系統萎縮症や筋萎縮性側索硬化症の神経難病重症患者を中心に訪問しました。

・訪問相談 延人員 27名

④面接・電話相談

特定医療費申請の来所時や電話相談時に随時対応しました。

・面接相談 延人員 23名

・電話相談 延人員 55名

4 肝炎治療特別促進事業

C型ウイルス性肝炎の根治を目的として行われるインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に係る、医療費の助成を行いました。

- ・申請件数 22件
- ・承認件数 22件

5 骨髄バンク

(1) 骨髄バンクドナー登録受付状況

定期的な登録窓口を、毎月第四火曜日に開設しています。また、より登録しやすいよう、献血推進ページメントとあわせて骨髄バンク臨時ドナー登録受付窓口を開設し、登録受付を行いました。

平成28年度登録者数 3名

(2) 普及啓発事業

愛の血液助け合い運動等献血推進ページメントの会場において、骨髄移植や骨髄バンクに関する啓発ポスターの掲示や、来場者に対して啓発資材を配布して理解を求めました。また、勇気の会紀州支部と協働して、イベント会場内で啓発活動を実施しました。

実施日	名称	実施場所
平成28年8月11日	愛の血液助け合い運動	イオン熊野店
平成28年10月23日	紀宝みなとフェスティバル	鵜殿港
平成29年3月12日	スプリング献血キャンペーン	熊野保健所

施策144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
基本事業14401 薬物乱用防止対策の推進

(主担当:衛生指導課)

取組内容

- 1 不正大麻とけし栽培の取締りを実施します。
- 2 薬物の乱用を防止するため、街頭における啓発活動等を実施します。
- 3 麻薬及び向精神薬の適正使用と適正な管理を指導します。



1 不正大麻・けし対策

ポスター等を利用して、不正大麻やけしに関する情報提供を行い、発見と除去に努めました
 除去実績 熊野市、御浜町 けし（セティゲルム） 360本除去

2 薬物乱用防止対策

(1) 薬物乱用防止啓発活動

平成28年度

実施日	内 容	場 所	対象数
H28. 7. 6	「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	350名
H28. 10. 27	麻薬・覚醒剤乱用防止運動 街頭啓発	熊野市駅前啓発資材配布	100名
H28. 11. 2	麻薬・覚醒剤乱用防止運動 街頭啓発	熊野市、御浜町、紀宝町内で 啓発資材配布	350名

(2) 麻薬等取締業務

医療機関、麻薬小売業者等への立入検査を実施し、麻薬、向精神薬、覚せい剤原料等の適正使用と適正な管理を指導しました。

麻薬関係施設数と立入検査状況

平成28年度

市町 業 態	市 町				合 計	立入検査 施設数
	熊野市	御浜町	紀宝町			
麻薬診療施設	10	6	1	17	5	
麻薬小売業者	7	6	1	14	9	
合計	17	12	2	31	14	

基本事業14403 医薬品等の安全な製造・供給の確保

(主担当:衛生指導課)

取組内容

- 1 医薬品・医薬部外品等の品質、有効性、安全性を確保するため、薬局・医薬品販売業等の監視指導を実施するとともに、調剤過誤を防止するため、薬局の自主管理体制の促進を図ります。
- 2 毒物劇物販売施設等の監視指導を行い、安全な取扱いの促進と保管管理の徹底を図ります。
- 3 「愛の血液助け合い運動」をはじめとするキャンペーンに取り組み、献血思想の普及啓発等による献血の推進を図り、県内で必要な血液を確保します。



1 薬事

(1) 薬事関係施設数と調査監視状況

平成28年度

業種		市町				総数	調査監視 件数
		熊野市	御浜町	紀宝町			
薬局		7	7	1	15	5	
医薬品	卸売販売業	1	0	0	1	1	
	店舗販売業	6	3	1	10	3	
医療機器	販売業	高度	6	6	2	14	4
		管理	94	39	29	162	18
	貸与業	高度	3	1	2	6	1
		管理	6	2	3	11	2
毒物劇物	販売業	一般	6	2	0	8	1
		農業用品目	4	5	1	10	2
		特定品目	1	0	0	1	1
合計		134	65	39	238	38	

(2) 調剤過誤防止と薬局における自主管理の促進

薬局に対して、監視の際に調剤過誤防止策に焦点をあて調剤全般についての聞き取りを行うとともに、法令遵守の意識を向上させるため全薬局へ自主点検表を送付し、薬局における自主管理を促進しました。

2 献血推進

医療に要するすべての血液製剤を献血により確保できるよう、市町、血液センター等と協力し、献血思想の普及啓発に努めました。特に、輸血の安全性向上の観点から、400ml献血への理解と協力を求めました。

(1) 管内献血状況

平成28年度

市町	区分	200ml	400ml	計	献血バス 配車数
		献血者数	献血者数	献血者数	
	熊野市	0	224	224	6
	御浜町	0	83	83	2
	紀宝町	0	90	90	2
	合計	0	397	397	10

(2) 献血キャンペーン

・愛の血液助け合い運動街頭ページェント

平成28年8月11日 イオン熊野店において実施 献血者数 51名

ヤングミドナサポーター、熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

・スプリング献血キャンペーン

平成29年3月12日 熊野保健所において実施 献血者数 31名

ヤングミドナサポーター、熊野ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

また、あわせて子供を対象とした献血模擬体験イベント（キッズ献血）を実施しました。

基本事業14404 生活衛生営業の衛生確保

(主担当:衛生指導課)

取組内容

- 1 理容所、美容所、クリーニング所、旅館等の生活衛生関係事業者に対し衛生指導を行い、衛生水準の向上と自主管理体制の整備に努めます。
- 2 理容・美容所等の立入調査や旅館の監視指導を行っていきます。

1 生活衛生

(1) 生活衛生関係営業施設数及び届出状況

平成28年度

業種 \ 区分	熊野市	御浜町	紀宝町	合計	新規	廃止
理容所	33	12	13	58	0	1
美容所	64	14	28	106	1	5
クリーニング所	11	4	8	23	0	1
公衆浴場	10	1	1	12	1	2
興行場	2	0	0	2	0	0
旅館業	65	5	6	76	3	9
合計	185	36	56	277	5	18

(2) 監視指導状況(平成28年度)

伊勢志摩サミット開催前後の旅行者の増加を見据え、宿泊施設の監視指導を実施するとともに、入浴施設における感染症予防対策の監視指導を重点的に実施しました。

業種 \ 区分	対象施設数	監視施設数	監視率
理容所	59	13	22.0%
美容所	110	21	19.1%
クリーニング所	20	3	15.0%
公衆浴場	13	6	46.2%
興行場	2	0	0.0%
旅館営業	82	32	39.0%
合計	286	75	26.2%



*対象施設数は、平成27年度末の施設数

*クリーニング所については、洗濯をおこなっている施設のみを対象とする

基本事業14402 人と動物との共生環境づくり

(主担当:衛生指導課)

取組内容

- 1 狂犬病予防のために野犬の捕獲を行います。
- 2 収容された犬・猫に生存の機会を設けるため、適正に飼養できる飼い主に犬・猫を譲渡します。
- 3 犬による危害発生を防止するため、正しい接し方教室等を開催します。
- 4 動物愛護についての普及啓発のために動物愛護ポスター展等を実施します。
- 5 動物取扱業者の監視を実施し、施設及び動物の取扱いの適正化を図ります。

1 狂犬病予防

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼育者に対し「正しい飼い方」についての指導啓発を行いました。

- ・飼育者に犬の登録と狂犬病予防注射の実施について啓発を図りました。
- ・動物による危害発生防止のため、飼い犬の係留を指導するとともに野犬捕獲に努めました。
- ・動物の正しい飼い方等の普及啓発を行いました。
- ・咬傷犬の届出と検診義務の普及啓発を図りました。

(1) 平成28年度月別犬捕獲等業務、咬傷犬届及び猫収容数

区分 月	犬捕獲等業務					咬傷犬	猫収容等業務	
	犬捕獲頭数	犬引取頭数	犬返還頭数	犬譲渡数	犬処分頭数		猫収容数	猫譲渡数
平成28年4月	28	17	1	11	16	0	23	1
5月	2	1	0	1	1	1	23	10
6月	2	0	1	1	0	0	14	0
7月	0	0	0	0	0	0	9	0
8月	8	3	4	3	1	0	4	0
9月	3	0	0	0	3	1	4	0
10月	7	4	3	0	4	0	4	1
11月	1	0	0	1	0	0	2	0
12月	1	0	0	1	0	0	0	0
平成29年1月	0	0	0	0	0	0	2	1
2月	3	0	3	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	1	0
計	55	25	12	18	25	2	86	13

(2) 飼い犬等に関する苦情受付件数 (平成28年度)

総数	係留義務違反 (放し飼い)	迷惑・モラル等 (ふん・鳴き声等)	咬傷事故	野犬捕獲依頼	飼い犬引取り依頼	その他 [失踪照会等]
171	6	4	4	31	19	107

(3) 猫に関する苦情受付件数 (平成28年度)

総数	迷惑・モラル等 (ふん尿)	迷惑・モラル等 (その他)	野良猫捕獲・引取り	負傷猫等収容依頼	飼い猫引取り依頼	その他 [失踪照会等]
239	38	10	39	15	10	127

(4) 動物愛護に関する普及啓発事業の実施状況 (平成28年度)

犬との正しい接し方教室「犬と友達になろう」	2回開催	62名受講
動物愛護教室	3回開催	153名受講
その他啓発事業 (講習会、イベント参加、街頭啓発等)	4回開催	157名参加

2 動物愛護

(1) 動物取扱業者の状況

動物取扱業者の登録を行うとともに、動物取扱責任者研修を開催し、施設の監視指導を実施しました。

第一種動物取扱業者の登録数と監視指導の状況 (平成28年度)

市町区分	熊野市	御浜町	紀宝町	計	監視数
展示	0	1	1	2	2
販売	1	1	2	4	5
保管	2	0	1	3	2

動物取扱責任者研修 平成28年10月4日開催 7名受講

(2) 動物愛護の絵・ポスター募集点数

動物愛護の精神や意義、動物の適正飼育・終生飼育について理解や関心を深めてもらうため、小・中学生を対象に動物愛護の絵・ポスターを募集しました。

平成28年度	104点 (小学生103点、中学生1点)
--------	----------------------

施策131 障がい者の自立と共生
基本事業13105 精神障がい者の保健医療の確保

(主担当:健康増進課)

取組内容

- 1 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、適切な通院医療の継続を目的に障害者自立支援医療受給者証や精神保健福祉手帳の交付を行います。
- 2 休日・夜間における精神科救急に対応するため、精神科病院の輪番制による精神科救急医療体制を確保します。

1 精神保健福祉事業

(1) 精神保健医療対策

① 精神保健措置事業

目的 医療及び保護のために入院させなければ、精神障がいのために自身を傷つけ又は他人に害を及ぼす恐れのある精神障がい者を精神保健指定医の診察の結果により保護し、医療を受けさせ自傷他害の行為を防ぎます。

(ア) 精神保健福祉法に基づく申請、通報の受理・調査状況 平成28年4月～29年3月

区 分	要診察		診察不要	小計
	第29条 該当	第29条 非該当		
法22条 申請(注1)	0	0	0	0
法23条 通報(注2)	3	4	0	7
法24条 通報(注3)	0	0	0	0
法26条の2 届出(注4)	0	0	0	0
計	3	4	0	7

管外での第24条通報(参考)	0	0	0	0
----------------	---	---	---	---

(注1) 診察及び保護の申請 (注2) 警察官の通報 (注3) 検察官の通報 (注4) 精神病院管理者の届出

(イ) 取扱措置入院患者数 平成28年4月～29年3月

	男	女	計
第29条措置 在院者数 (平成28年3月末現在)	0	0	0
第29条措置 新規	3	0	3
第29条措置 解除	3	0	3
第29条措置 在院者数 (平成29年3月末現在)	0	0	0

② 自立支援医療（精神通院医療）

目的 精神疾患の治療のために指定医療機関に通院する人を対象に、その通院医療費の90%まで公費負担をします。

自立支援医療受給者証（精神通院医療）の有効期間：1年間

平成28年度末現在

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
交付者数	241	90	116	447

(2) 精神障害者保健福祉手帳交付

目的 精神障がい者の社会復帰の促進と自立、社会参加の促進を図ります。

精神障害者保健福祉手帳の有効期間：2年間

市町別等級別精神障害者保健福祉手帳交付状況

平成28年度末現在

		熊野市	御浜町	紀宝町	計
障害等級	1	11	1	3	15
	2	83	31	36	150
	3	24	7	17	48
計		118	39	56	213

基本事業13106 障がい者の権利擁護と社会参加環境づくり

(主担当:健康増進課)

取組内容

- 1 地域精神保健福祉活動を推進するため、市町及び関係機関に対し専門的立場から技術指導及び技術支援を行います。
- 2 精神障がい者の地域生活をサポートするため関係機関のネットワークづくりを行います。
- 3 地域住民等に対し精神障がいの正しい知識を普及啓発します。

1 障がい者地域生活推進事業

(1) 精神保健福祉相談

- 目的 一般住民や精神障がい者、その家族のニーズに応じ、こころの健康づくりやこころの病気を早期発見し、適切な医療に繋げると共に、精神障がい者の地域生活の支援、社会復帰を促します。

相談の区分	精神科医師の相談	保健師の相談		
		家庭訪問	面接	電話相談
開設状況	年2回 御浜町 H28. 10. 19 紀宝町 H29. 2. 15	随時	随時	随時
相談延件数	4件	20件	41件	125件

(2) 平成28年度 精神保健福祉研修会（自殺予防支援者研修と合同で実施）

- 目的 精神障がいのある本人や家族が、安心して暮らせる地域づくりのためには、多くの仲間や関係者の理解と支援が必要となります。

障がい者等が暮らしやすい地域づくりのために、熊野地域の親の会、支援関係者が交流し、学びあうことを目的として研修会を開催します。

日時 平成28年9月2日（金）13:45～15:45

場所 県熊野庁舎5階 大会議室

内容 講演：「私が見つけた“人とうまくいく”30のルールと支援者が工夫するとよいこと」

講師：有限会社アズ 代表取締役 アズ直子 氏

アズ直子マネージャー 藤野 淳 氏

対象者 精神保健福祉関係支援者等 計75名

(3) 啓発活動

市町広報での相談等のPR

(4) 関係機関との連携等ネットワーク作り

1) 紀南地域精神保健福祉連絡会

日 時 平成 28 年 12 月 6 日 (火) 13:30~15:00

場 所 県熊野庁舎 101 会議室

目 的 危機関連業務におけるネットワークの構築

対 象 熊野自殺防止センター、熊野消防本部、熊野警察、紀宝警察、熊野病院、紀南病院、
紀南圏域障がい者総合相談支援センターあしすと、市町精神保健福祉担当課職員

参加者：16 名

内 容 ・熊野保健所管内の現状について

・事例共有

・ひきこもりへの対応・支援について

講師：こころの健康センター 山崎主査

2) 自立支援協議会精神部会への参加

日 時 平成 28 年 8 月 31 日 (水) 13:30~15:30

場 所 熊野市文化交流センター 参加者 12 名

内 容 精神障がい者の地域移行支援について

住民への普及啓発、当事者とその家族への支援体制について

3) 関係機関職員との同行訪問及び事例の連絡検討

同行訪問 5 件

事例の連絡検討 3 件

第2節 「創る」 ～人と地域の夢や希望を実感できるために～

施策231 少子化対策を進めるための環境づくり

基本事業23102 子どもの育ちを支える地域社会づくり

(主担当:健康増進課)

取組内容

- 1 母子保健サービスを促進するため、市町の取組を支援します。
- 2 長期療養児、思春期を対象とした専門的なサービスの提供や、小児慢性特定疾病医療費助成により適切な医療が受けられるよう支援を行います。

1 母子医療給付事業

(1) 小児慢性特定疾病医療費支給認定 (市町別・疾病別給付状況) 平成 28 年度末

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
悪性新生物	7	2	1	10
慢性腎疾患	1	0	2	3
慢性呼吸器疾患	0	0	0	0
慢性心疾患	2	0	3	5
内分泌疾患	4	5	3	12
膠原病	0	1	0	1
糖尿病	3	0	0	3
先天性代謝異常	0	0	1	1
血液疾患	0	1	1	2
免疫疾患	0	0	0	0
神経・筋疾患	0	0	0	0
慢性消化器疾患	0	0	0	0
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	0	0	0	0
皮膚疾患群	0	0	0	0
計	17	9	11	37

(2) 特定不妊治療費助成事業 (市町別給付状況延べ件数) 平成 28 年度

	熊野市	御浜町	紀宝町	計
件数	8	9	6	23

2 健やか親子支援事業

(1) 心身の発達に問題をかかえる子どものフォローアップ

①長期療養児等への家庭訪問

	延べ件数
長期療養児等	2

②のびのび療育相談（肢体不自由児巡回相談）

	第1回	第2回	第3回	第4回
月 日	H28年6月3日	H28年8月26日	H28年11月25日	H29年3月3日
場 所	紀南病院 すこやかルーム			
スタッフ	草の実りハビリテーションセンター（医師・看護師・PT・ST） 紀南病院（看護師・PT） 熊野保健所（保健師）			
受診者数	12名	15名	13名	20名

(2) 思春期保健

①健康教育

月 日	対象	内容	参加者数
H28年6月13日	管内高等学校 生徒、教員	薬物乱用防止、性感染症予防	194名
H28年6月15日		性感染症予防	19名
H28年6月27日		デートDV	187名
H28年12月13日		薬物乱用防止、性感染症予防	108名

②電話相談 述べ16件

(3) 母子保健体制の整備

紀南地域母子保健医療推進協議会への参加

代表者会議	1回
実務委員会	1回
連絡会議	2回
継続ケアワーキング	2回
事務局会議	9回
打ち合わせ	3回
親子ふれあい事業	1回

(4) 児童相談所との連携

要保護児童対策地域協議会への参加 7回

【平成28年度災害医療救護研修会（普及会研修：応急処置）】

救急・災害医療についての啓発活動・イベントを行っています。

研修会では、応急処置の方法などの普及に取り組みました。

(H28.11.19 阿田和公民館)



保健所年報（平成28年度版）

三重県熊野保健所

〒519-4324 三重県熊野市井戸町 383 番地

電話 0597-85-2158（代表）

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/KHOKEN/HP/>

E-mail khoken@pref.mie.jp